



我が國體ト綜合科學的世界建設ノ理念

特255

20|

始



特 255
201

世界四部綜合科學即世界史之觀念

我が國體ト綜合科學的世界建設ノ理念

(一)



世界又發展ノ現段階ヲ見ルニ、過去數世紀ニ亘ツテ歐米諸民族が基督教的の世界觀乃至近世科學文化ヲソノ基本原則トシテ武器トシテ爲シ遂ゲテ采々帝國主義的世界制覇ヲ成シ、今ヤ凡ユル矛盾ト脆弱性トヲ曝露シテ將ニ全面的崩壊ノ瀕ニ至リ、人類生活ハコ、ニ全ク新シキ文化原則ト劃期的ナル構想設計ノ下ニ再建設セラレンコトヲ欲求シテ止マナイモノノマウテアル。蓋シ、歐米諸民族獨リ自己優越感ヲ抱イテ世界ノ凡ユル他ノ民族ニ君臨シ、古代以來東西幾多ノ民族ノ貴重ナル努力ト經驗トヲ通ジテ集積練磨セラレタ科



學文化ヲ、人類全般ノ福祉ト繁榮ニ利用セントスルヨリモ
 ムシロ恰モ自己ノ特權物ナルカノ如クニコレヲ壟斷シテ、
 他民族ニ對スル採取ト暴壓ノ具ニ供シ來ツタコトハ、全人
 類史ニ對スル冒瀆ト反叛トデアツタノデアアル。從ツテ彼等
 ガ過去ニ於テ世界ニ張り廻シタ採取掠奪ノ全機構ガ早晚全
 的ニ崩壞滅亡スベキハ火ヲ睹ルヨリモ瞭デアアル。然レドモ
 科學ソノモノハ東西古今凡ユル民族ノ無限ノ生活經驗ト幾
 多ノ天才ノ貴重ナル努力ノ結集トシテ生レテ來タ最高度ノ
 文化財デアアルコトハ、ソレガ齎ラス巨大ナル普遍的生産力
 ノ本質ニ顧ミテ明瞭デアアル。然ルニコノ近世科學ノ原則ト
 技術トヲ根幹トシテ來タ現代ノ生産機構乃至文化組織ガ何
 故ニ前記ノ如キ破綻ヲ呈露セザルヲ得ナカツタカト云フニ

吾々ハ、ソノ原因トシテ、從來ノ科學ニハ三ツノ大イナル
 缺陷ノ存在スルコトヲ認メナケレバナラヌ。ソノ第一ハ、
 局部的精密性ヲ追求スルノ餘リ極端ナル専門的分散化ニ走
 リ過ギタコト。ソノ第二ハ、自然科学部門に於テ跛行的ニ
 急激ナル発達ヲ遂ゲタニモ拘ラズ、精神、文化、歴史等ノ
 科學部門ニ於ケル發達がコレニ隨伴シナカツタコト、ソシ
 テソノ第三ハ、ソノ直接的母胎デアツタ「ヨーロッパ」的
 基督教文化ノ偏向ト限定トヲ完全ニ脱却スルコトが出来ズ
 中世紀的殘滓ヲ多分ニ包含シテ中ヲ眞ニ未來ノ全人類的文化
 原則タルベク幾多ノ制約ヲ擔シテキルコトデアアル。ソレ
 ガ為メニソノ齎ラス巨大ナル威力ト生産力モ、人類全般ノ
 公平妥當ナル利用ト、全体トシテノ人類生活ノ積極的建設

ニ寄與スルコト比較的尠ク、却ツテ一局部的特權者ニ依ツ
テソノ採取ト暴戾ノ具ニ供セラレル結果ヲ生ムニ到ツタノ
デアル。

故ニ吾々ハ、既成科學諸部門ノ有機的綜合統一化ト世
界ノ凡ユル傳統的文化ノ精髓ヲソノ中ニ攝取シテコレヲ更
ニ、精神、文化、歴史ノ方面ニ急速ニ發達完成セシムルコ
トノ必要ヲ認メルモノデアル。併シ過去ノ科學文化ノ建設
ニ主動的役割ヲ演ジタ歐米殊ニ西歐ノ舊文化諸民族ハコレ
ガ遂行ヲナスべく既ニ根本的行詰リニ到達シ、何等劃期的
發展ノ徵候ヲ示シテ居ラナイ。カクノ如キ最高次文化原則
ノ劃期飛躍的發展ハ、最モ眞摯公明ナル建設的精神ニ富ミ、
最モ澄澗旺盛ナル向上的意慾ニ燃エタ若々シイ民族ニシテ

始メテコレヲ爲シ遂ゲルコトが出来ル。吾々ハ、コトニ我
國ニ與ヘラレタ重大ナル世界史的使命ノ存在スルコトヲ、
最モ謙虛ナル態度ニ於テ自覺自認スルト共ニ敢ヘテコレヲ
世界ニ宣明セント欲スルモノデアル。何トナレバ、過去ノ
科學文化ノ根底ニ最モ犀利透徹セル批判的解析ヲ下シテコ
レヲ綜合的全一の体系ニ再編成シ、更ニ未ダ科學的ニ開拓
闡明セラレザル世界諸民族ノ傳統的文化ノ中カラ虚心坦懐
至公至明ノ態度ヲ以テ發展の建設的要素ヲ悉ク攝取包容シ
カクシテ綜合的の最高次文化ヲ創建スルト共ニ、世界諸民族
ノ渾然タル一體的協同化ヲ實現スルコトハ、右承民族渾成
ト文化綜合トニ若シキ試練ト貴重ナル體驗トヲ積ミ、シカ
モ克ク生命ノ最モ本然の形態ヲ維持完成シ、最モ現實的建

設的ナル未來文化ノ基本的範型ヲ具備シテ、將ニ世界文化ノ劃期的發展ニ寄與貢獻セントスル敢々タル至誠ト熱意ニ燃エ居ル我が國ニトツテ、獨特無二ノ課題デアリ、責務デアルカラデアアル。

(二)

抑モ、我が建國ノ大原則タル惟神ノ大道ハ、吾人個々ノ小生命ヲ結集シテ宇宙的大生命ニ歸合セシメ、且ツコレヲ永遠ニ發展顕現セシムベキ根本義ヲ体示シタモノデアアル。故ニソレハ生命原則トシテノ基本性格ニ於テ最モ宏大無辺デアルト共ニ、絶對ニ自由無礙ノモノデアリ、徒ラニ抽象的ニシテ煩瑣ナル思辨論證ヲ要セヌ直截明快サヲモツタモノデアアル。而シテ一般ノ宗教ニ見ラレル如キ形式的象徴的

ナル諸々ノ觀念マ教義マ規約ニ束縛セラレルコトナキソノ潤達ナル包容同化力ト、生命ノ本性タル具體的連續性並ニ飽ク迄生成發展ヲ意欲シテ止マヌ無限ノ能動性ニ根源ヲ發スルソノ現實的ニシテ積極的ナル建設性トハ、世界ノ凡ユル宗教マ教説ト本質ヲ異ニスルソノ根本特徵デアツテ、從ツテソレハコレ等ノ總ベテヲ包容シテシカモ何等ノ矛盾枘格ヲ生ズルモノデハナイ。コレコソ、我が國が亜細亞大陸ノ東緣ニ近ク絶海ノ中ニ位シツ、不斷ニ四辺ヨリ傳來移住シ來レル凡ユル民族ヲ攝容融合シテコレヲ渾然タル一大優秀民族ニ造鍊成シ上ゲルコトノ出來タ根本原動力デアアル。蓋シ、民族ノ鍊成ニハ肉體的下精神的下ノ両方面ニ於テ長年月ニ亘ル痛烈ナル試鍊ト研磨トが必要デアアル。我が國が

絶エズ近隣異民族ノ渡來増集ヲ受ケツ、モカノ大陸方面ノ
 歴史ニ見ラル、如キ陰慘ナル異民族間反撓抗争ノ事態ヲ現
 出スルコトナク常ニ圓滿ナル混和融合ノ實果ヲ擧ゲ、又大
 陸各方面ニ於テ発達セル各時代ノ最高文化ヲ常ニ白ラ進シ
 テ攝取受容シツ、モカノ慘鼻ヲ極ムル異教抑壓マ極端ナル
 思想闘争ノ弊ニ陥ルコトナクシテ克ク民族精神ノ自己鍊磨
 ト向上發展トヲ達成シ得タコトハ、全クコノ宏大ニシテ深
 遠ナル建國ノ基本原則ノ存在シタガタメニ外ナラナイ。
 ソレト共ニ、コノ建國ノ基本原則ソノモノモ、我國民ガ經
 験シタ痛烈ナル民族渾成ト文化綜合ノ試練ノ間ニ、益々研
 磨セラレ醇化セラレテ、愈々ソノ珠玉タル本來ノ特質ヲ發
 揮シ、可能ナル最高次ノ完成段階ニ達スルニ到ツタモノト

思ハレルノデアアル。コレ我々國民ガ、最モ綜合的ニシテ最
 モ高次的ナル未來ノ全人類文化創建ニ當リ、獨特固有ノ重
 大使命ヲ負擔シテ牛ルコトヲ強ク自ら確信シテ疑ハナイ所
 以デアアル。

而シテ、我々國ガ經テ來タ永キ歴史的民族鍊成ノ期間ニ
 於テ、我々大和民族ノ大宗家タル 皇室ニ於セラレテハ、
 コノ建國ノ基本原則ヲ顯示具現セラレタル皇祖皇宗ノ御遺
 訓ヲ奉戴セラレ、常ニ民族渾成ノ中心ニ位シ、文化綜合ノ
 先頭ニ立タセラレテ、御躬ヲコノ建國ノ基本原則ソノモノ
 ノ顕現トシテ範ヲ普く蒼生ニ垂レサセ給ヒ、萬民ヲシテ嚮
 フトコロヨ謬ルコトナカラシメラレ給フタノハ、誠ニ畏キ
 極ミデアアル。而シテ歴代皇室ヲ中心ニ奉戴シ來ツタ我等代

代ノ祖先モ、克ク大政翼賛ノ誠ヲ盡シ、臣道実践ノ方途ヲ誤ラナカツタノハ、元ヨリ上ニ皇室ノ權威ノ然ラシムルトコトトハ云ヘ、我等代々ノ祖先ノ眞摯ト忠實ト聰明トヲ顧ミル時、今日深キ感謝ノ念ヲ抱カザルヲ得ナイノデアル。カクシテ完成セラレタル我が國體ガマコトニ金甌無缺ニシテ絶対ニ他ノ追隨ヲ許サバルハ、全ク当然ノコトデアル。吾々ハ、我が國體ノ上ニコソ人類生命ノ最モ根源的且ツ本然的ニシテシカモ最高次ニ發達シタ模範的形態ヲ見ル。ソレト共ニ我が國體ノ貴重ニシテ神聖ナル所以ハ、ソレガ上皇室ヲ中心トシ先導トシ奉リ、下萬民ノ翼賛実践ヲ通ジ、悠久ナル歲月ニ亘リ連綿トシテ一貫セル限り無キ歴史の苦闘努力ヲ經テ現實的ニ完成セラレタルモノデアル点ニアル

コトヲ深ク思念セザルヲ得ナイ。コノ意味ニ於テ、天皇ハ永遠ノ連續累加性ト無限ノ向上發展性、換言スレバ積極的建設性ヲ本質トスル宇宙的大生命ノ自己顕現トシテ、億兆ノ民ニ親タルノ大御心ヲモツテ、ソノ歴史の具體的表示トシテノ國家建設即チ世界建設ニ於テ、自ラ中核トナリ主幹トナラセラル、現世神ヲアラセラル、ノデアアル。コトニ、天皇ガ、基督教ニ於ケル神、佛教ニ於ケル佛、ソノ他類似ノ抽象的普遍宗教ニ於ケル超越的ナ宇宙創造神マ宇宙主宰神トハ根本的ニ異ル唯一獨自ニシテシカモ最高次ノ神格ヲ保有セラル、所以ガ存在スル。

吾々ガ 天皇ヲ中心ニ奉戴シ、コレニ歸一シ奉レル我が國民ノ率先奮起ニ依ツテ始メテ克ク、自然、人文ノ兩部門

ニ亘ル一切ノ科學ノ綜合統一化ト、世界諸民族ニ於ケル傳
 統的文化ノ精髓ノ醇化攝取トニ依ル。未來ノ最高次世界文
 化ノ創建が可能トナルト確信スルノハ、以上述ベタル如キ
 天皇ノ本質ニ對スル信念ニ基因スルモノデアアル。我が建國
 ノ基本原則タル惟神ノ大道ヲ體現セラル、天皇ハ、軍ニ
 超越的絶対權威トシテ天上界、觀念界、若クハ靈界ニ君臨
 セラレルノデハナク、宇宙の大生命ノ歴史の具體的表示ト
 シテノ國家建設乃至世界建設ノ現實的過程ニ於テ自ウ中核
 トナリ主軸トナラセラレテ、常ニ最モ強烈深奥ナル生命意
 志ノ發現ニ依ンテ億兆ヲ導カセラレルノデアアル。コノ天皇
 ノ絶大ナル積極的建設的生命意志ヲ通ジテ始メテ、吾々ノ
 一切ノ科學ト技術トハ綜合統一化セラレ、窮極最高ノ目的

ニ向ツテ結集體系化セラレルノデアアル。而シテ世界諸民族
 ノ傳統的文化ノ中ニ横ハツテキル未來ノ全人類文化ニトツ
 テ有意義ナル建設的諸要素モ、コノ天皇ノ絶大ナル生命
 意志ノ活動ヲ通ジテ始メテ、開拓闡明セラレ動員歸一セラ
 レ、新タナル意義ト活力トヲモツテ未來ノ最高次人類文化
 ノ創建ニ寄與參入シ得ルノデアアル。蓋シ、世界諸民族ノ傳
 統的文化ハ、ソレ等が既ニ普遍宗教ノ形態若クハ形而上學
 體系ノ形態ニ發達セルト、ホダソレ以下ノ民族傳説的形態
 ニ停レルトニ拘ラス、何レモソノ本源ニ於テハ、ソレゾレ
 ノ民族生命が、不斷ノ自己超越ニ依ツテ宇宙の大生命ニ歸
 合センコトヲ意慾スルトコロカラ起生シ發達シタモノデア
 ル。然ルニソレ等が發達ノ種々ノ段階ニ於テ停滯凝化セル

ハソレゾレノ歴史的環境の諸條件ニ依ツテ制約セラレタガ
 タメデアアル。然ルニ今マ、宇宙的生命意志ノ顕現トシテノ
 大皇ニ歸一シ奉レル我が國民ノ卒先奮起セルニ呼應シテ世
 界ノ諸民族ガソレゾレノ生命意志ニ目覺メルトキハ、コ
 コニ彼等ノ傳統的的文化ハ忽然トシテ復活蘇生シ、既成ノ最
 高次世界文化タル科學文化ヘノ融合同化ヲ通ジテ眞ニ世界
 ノ永遠的發展ノ基本原則タルベキ未來ノ最高次人類文化ノ
 創建ニ寄與參入スルコトガ出來ルニ到ルノデアアル。故ニ宏
 大無辺ナル 天皇ノ御威徳ノ下、ソノ強烈深奥ナル御意志
 ノ発動ニ隨ヒ、我が國民ノ卒先奮起セルニ呼應シテ、世界
 ノ諸民族ガコノ綜合の最高次文化原則ノ創建ニ協力スルコ
 トハ、決シテ我が國ノ文化的の世界征服ヲ意味スルモノデナ

イコトハ無論、又世界ヨリ毫末モ信敵並ビニ思想ノ自由ヲ
 奪取シ去ルモノデハナイコトモ云フ迄モナイ。否、却ツテ
 世界諸民族ノ民族生命ヲシテ各自本來ノ欲求タル永遠的宇
 宙の大生命ニ歸合セシムベク、ソノ具體的現實的表示タル
 人類生活ノ最高次文化的形態ノ現實的積極的建設ヘトコレ
 ヲ再ビ蘇生サセ活性ツケ更ニソノ本來ノ方向ニ發展セシム
 ルコト、ナルノデアアル。
 吾々ハコ、デ、世界更發展ノ現段階ヲ今一度別ノ觀點カ
 ヲ再考察シテ見コウ。現代ノ發達セル科學的技術ハ日々ニ
 地球表面積ヲ縮小サセルト共ニ、ソノ各局部ニ於ケル人類
 生活ヲ壓縮シ、コレヲ緊密ニ接觸浸透セシメテ、ソノ間ノ
 相互聯繫性ヲ刻々ニ高度化シツ、アル。従ツテ地球表面ハ

モハマ人類ニトツテ探検ト開発ノ餘地ナホ豊カナル廣漠タル生活ノ原野ヲハナク、緊密ナル内部構造ヲモツタ充實セル生活ノ場デアアル。ソコニ與ヘラレテアル海陸ノ分布トソノ形状、人類、民族並ニ人口ノ區域分野ノ状態、資源ノ配分状況等ハ、纏ツターツノ図形ヲ描出シ、ソレハ一刻モ早ク、全態トシテ考察セラレ、全態トシテ調整セラレ、更ニ全態トシテヨリ善ク設計セラレ、全態トシテヨリ積極的ニ建設セラレンコトヲ痛切ニ欲求シテ止マナイモノノヤウデアハナイカ。蓋シ、今日迄ニ發達セル科學的技術ヲ以テシテサヘモ、地球全域ノ自然的並ビニ文化的諸條件ヲ考慮シツツ、従来ノ所ヲ遙カニ超エタ大規模ナル構想ノ下ニ、人類生活ノ全構造ヲコノ與ヘラレタル基盤ノ上ニ劃期飛躍的ニ

ヨリ生産的ナル段階ヘト積極的ニ建設シ、カクシテ人類生活ノ全般的幸福ト繁榮トヲ躍進セシメルコトハ決シテ難事デハナク、過去ノ資本主義的矛盾並ニ桎梏カラ人類生活ヲ脱却セシメルト共ニ、コレヲカノ共產主義者ノ主張スル如キ唯物的機械主義ト平面的均一主義トノ支配スル非生命的状態トト轉落サセルコトヲ阻止スルノ途ハ、コレヲ指イテ他ニハナイノデアアル。然ルニ従来ハ世界々發展ノ全局ニ對スル綜合科學的認識ノ未發達カラ、各民族各國家共ニ、コノ日々ニ緊密化シ行ク全態ノ中ニ於テ、依然トシテ、否ムシヨ、益々個別分離的、対立排他的立場カラ、或ヒハ掠奪採取ニ相競フテ狂奔シ、或ヒハ反噬抗争ニ日モ維シ足ラサル状態デアツタコトコソ、今日ノ世界慘劇ノ根因デハナ

イカ。若シコ、ニ、綜合科學的ナ聰明ナ見透シト至公至平
 且ツ最モ博大ナル宏量トヲモツテ、全体の立場ニ於テ全体
 ノ為メニヨリ善キ全体ヲ建設スベク、大衆的決意ヲ以テ世
 界諸民族ニ先導シ、敢然トシテ立チ上ルベク歴史的地政學
 的諸條件ヲ具備シタル國家ガ出現シタラバ、世界ノ諸民
 族諸國家ハ終局ニ於テ翕然トシテソノ傘下ニ蒐リ、ソノ意
 圖ニ追隨協力スルニ到リ、世界ハ一躍巨大ナル生産力ト最
 高次ノ文化ヲ擁スル生命ノ一大樂園ト化スルデアラフ。
 但シ、コ、ニ特ニ要請セラレルコトハ、ソノ國家ガ従來唱
 ハラレタル如キ世界平和若クハ國際正義ト云フ如キ抽象的
 目標マ、單ナル世界新秩序若クハ道義的世界ト云フ如キ意
 義内容ノ不決定的ナル標語ヲ掲グルニ留ラズ未來ノ最高次

人類文化ノ基本理念ト基本原則トヲ綜合科學的ニ明確ニ規
 定シテ、全人類の行動ノ規範ヲ確立スルト共ニ、更ニコノ
 理念ト原則トニ基ヅク世界全体ノ積極的建設ニ対スル具體
 的設計案トソノ実施方策ヲ明瞭ニシ、以テ世界諸民族諸國
 家ヲシテコレニ追隨協力スルコトガ、終局ニ於テ人類全体
 トシテ最大ニ生産的デアルバカリデナク、各自ノ個別的立
 場ニ於テモ最大ニ生産的デアルコトヲ充分判断シ納得シ得
 ルマウニナスト云フコトデアル。若シ不幸ニシテ硬迷、力
 クテモ尚ホコノ真意ヲ把握セズ、ソノ建設ノ前途ニ妨害ノ
 斧ヲ揮ハントシ、説イテ解セズ、諍フテ應ゼズ、誨ヘテ倍
 ルトコロナキモノアラバ、コレ實ニ止ムヲ得ザルノ場合ニ
 テ、吾々ハ敢然全人類ト世界史ノ名ニ於テ、コレヲ徹底的

ニ脅撃撃摧スベキノミデアアル。コレこそ世界建設ノ聖戦デ
 ナクテ何デアウ。カクテ人種ノ如何ヲ向ハズ。コノ至
 高理想ニ共鳴シ協力シ來ル民族・國家ノ数が増大シソノ聯
 携範圍ガ擴張スルニツレ。始メテ、世界ハ眞實ニシテ健全
 ナル生産的建設的平和ノ時代ニ入り得ルノデアアル。
 今マ我ガ國ハ大東亞共榮圈ノ建設ヨリ延ヒテ世界新秩
 序ノ樹立ニ嚮フベク猛然厥起シタ。コレこそ、古來民族渾
 融ト文化綜合ノタメニ眞摯ナル努力ヲ續ケ、シカモ永遠ノ
 理想ヲ單ニ天國トク極樂トカ云フマウナ超越的觀念的ナル
 架空ノユートピアニ懸ケルコトナク、コレヲ現實具體的ナ
 ル國土造營トソノ修理回成ニ顕現シテ、一路向上ト發展ト
 ヲ目指シテ進ンテ來タ我ガ國ガ、愈々時到リ機熟シテソノ

本來當然ノ使命ニ口覺メラ立チ上ツタ姿ニ外ナラナイ。歴
 史ヲ按ズルニ既知ノ地球全域ヲ基盤トシタ全人類生活ノ統
 一的形態タル眞實ノ「世界」ハ、カノ歷山大帝ノ夢ノ如キ
 世界征服ノ慾望ニ依ツテモ、功利的統一理念ヲ缺イタコ
 マ的世界制覇ノ野心ニ依ツテモ、超越的普遍神ノ象徴的幻
 想ヲ戴イタ加持力教會マ回教徒ノ志シタ如キ中世紀的神聖
 帝國ノ世界支配ノ理念ニ依ツテモ、遂ニ實現セラレ建設セ
 ラレルコトハ出來ナカツタ。況ンヤ物質的自然觀ヲ基調ト
 シ近代科學ノ唯物的技術生産力ノミヲ頼リトシタ歐米帝國
 主義ガ、ソノ技術生産力ノ偉大ニ依ツテ一時地球全域ヲ
 支配シ得タカニ見エタトシテモ、結局人類生活ヲ今日ノ大
 混乱ニ陥レタマ、空シク退滅セザルヲ得ナカツタノハ、蓋

シ當然ノ成行デアラワ、何トナレバ、彼等ノ遵奉シタ近代科學的文化原則ニハ、永遠ノ人類最高次文化原則タルベキ綜合性ヲ缺如シ、彼等ノ世界制覇ハ世界ノヨリ生産的ナル全体建設ヲ志向シタモノデハナクテ、個別的立場ニ於テノ盲目的利益追求慾ニ驅ラレタモノデアツタガ故デアアル。コニ我が國ガ敢然奮起シ、コノ聖ナル世界建設ノタメニ自ラ主動的指導國家ノ地位ニ就カンコトヲ決意シタ理由ガアリ動機ガアル。

併シテ、吾々ハ徒ラニ自凸陶醉的優越感ニ耽ツテ、民族ノ排他的純潔性ヲ誇リトシタリ、他民族支配ノ特權アルカノ如クニ妄想シテキルモノデハナイ。飽ク迄モ謙虛ニシテ博宏、眞摯ニシテ堅實ナル固有ノ精神ヲ以テ、拳國ノ大

理想タルハ絃為宇ノ實現ニ邁進セントスルモノデアルト共ニ、自ラ世界ノ全体の積極的建設ニ於ケル主動的指導者タルニ必要ナル一切ノ負擔ト代償トヲ支拂フコトニ吝ナラザルモノデアアル。コノ拳國ノ大理想コソ世界ヲ最高次ノ文化的形態ニ具體的設計ヲモツテ積極的ニ建設セントスル「世界建設」ノ至高理想ニ外ナラナイ。蓋シハ絃為宇ノ我が拳國ノ大理想ハ、至高至仁ニシテ生命ノ根源的形態ヲ顕現セル我が國體ノ真髓ニ則リ、自然、人文ノ兩部門ニ亘ル一切ノ科學ノ綜合統一的研究ノ成果ニ準據シ、全人類生活ノ最高次文化的形態タル世界體制ヲ永久ニ積極的ニ建設シ行クノ謂デアルト解セナケレバナラヌ。大東亞戦争ノ目的モ亦コ、ニ存スルノデアアル。ソレ故ニ、吾々ハ滿洲争變、支

420
282

我が國の綜合的學科的世界建設の理想

昭和十七年九月五日印刷
昭和十七年九月五日發行

著者 杉並區井荻町三ノ一〇二 篠原 雄

發行者 麹町區五番町七ノ一 久保田 琢一

印刷者 麹町區九段四ノ二ノ三 修文社

電九段四八七七
(非賣品)

那事変ヲ經テ、今次ノ大東亞戦争ニ及ブ我ガ國ノ建設戰コ
ソ、史上最初ノ真正ナル世界總建設戰デアルト同時ニ、力
ノ糧原ノ地ヲ相ルニ、蓋シ國ノ境區カ、^{モナカ}治ルベシト仰セ
ラレタ神武帝ノ、全体建設ノタメノ御軍デアツタ御東征ノ
直接的連續デアリ延長デアルコトヲ信ジテ疑ハナイ、世界
ハ今ヤ、自ラ全一的ニ現實具體的ニ建設セラレンコトヲ欲
求シテ止マナイ、世界ノ諸民族ヨ、起ツラコノ史上最初ノ
真正ナル「世界建設」ノ聖戰ニ参加セヨ、(昭和一七・八・一ニ)

勝寫ヲ以テ筆書ニ代フ。

終

